



K 中通信

学校だより 1号
令和2年4月7日
横浜市立軽井沢中学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

【学校教育目標】 『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます（知・徳・公）
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます（体・開）

新年度を迎えて

校長 星野 久美子

ヒトの属するホモ・サピエンスは、およそ40万から25万年前に地球に現れたと言われています。現在のように発展した文明や文化を築き上げるまで、祖先たちは様々な智慧を結集し、天災や病気などの困難を乗り越えてきました。今年度は入学式、始業式も短縮され、例年とは異なる緊張感に包まれた年度初めとなりましたが命や健康の大切さを改めて思い起こし、困難を克服するために成すべき行動について考え、自分を律してほしいと思います。

軽井沢中学校は、生徒数265名、教職員数（非常勤講師等含む）30名でのスタートとなりました。現2・3年生は卒業式に参加することはできませんでしたが、先輩たちの軽井沢中を大切にする思いをしっかりと受け継いでくれたと思います。今年は昨年同様の教育活動を行うことは難しい状況ですが、様々な工夫を行い、軽井沢中学校の伝統である「一人ひとりが安心して、自分の個性を十分に発揮できる」学校を継承していきましょう。

保護者の皆様や地域の方々には、日頃より生徒を温かく見守っていただきありがとうございます。

このような状況のため従来の教育活動の変更や、やむを得ない中止などがあるかと思いますが、情報発信に努めますので、引き続き本校の教育活動に御理解と御支援をいただけますようお願い申し上げます。

新年度を迎えて

副校長 田中 光弘

吹きすぎる風に春の心地よさを感じる季節となりました。春は新しい出会いが始まる季節です。私は今年度より副校長としてこの軽井沢中学校に着任いたしました、田中光弘と申します。副校長と申しましても、新任です。昨年度までは鴨志田中学校で教務主任をしておりました。初めてのことばかりです。地域・PTA・保護者の皆様方から学ばせていただき、成長をテーマとした1年としていきます。

先行きが見えない状況の中、軽井沢中学校の職員はこの難局をどのように乗り越えていくのかに、力を合わせて頑張っております。何度も打ち合わせをしたことが、次の日には変更せざるをえなくなることも幾度もありました。それでも、どうしたら生徒たちのためにより価値のあることができるのかを考えて、最大限のことを作り上げています。

スポーツ界の方々も思い通りにならない中で「自分にできることはないか」「少しでも皆さんに元気になってもらう」と動画やメッセージを配信しています。オリンピックが延期するなど、選手の方々もきっと心中では様々な悩みを抱えていることなのでしょう。それでも「今やれることをやろう」との思いで私たちが勇気づけてくれています。私も何ができるのかを力不足ながら考えていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、これからも生徒の成長のために、引き続きのご助力をなにとぞ、よろしくようお願い申し上げます。